

東光寺たより 58

桜が咲きだしました♪

誰が為に風呂はある？

前回の続き・・・僧堂でのお風呂は五右衛門風呂が基本で、薪で風呂を沸かすという今でも続いているのではないのでしょうか？昼過ぎに風呂が沸き、老師が先に入浴されその後に入浴させてもらう訳です。作務等で汚れた身体を洗うのですが、おおよそ、ゆっくり入るなんて出来ません(泣)それでもほっこり出来る一刻です。そうそう、入浴時の独自ルールが存在して、べちゃくちゃ喋ってはいけないのです。何故か？不思議な世界ですよ。

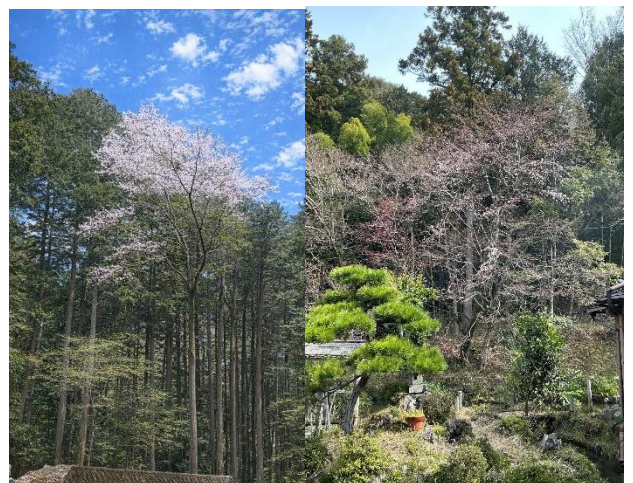


切干大根を作ります♪

大きな大根を供養していただきました。どの位太いかと申しますと、西武の外国人“カブレラ”の二の腕くらい太いのです。こうなったら、切干大根ですね。拍子木切りにして干してみます。それを狙うプリンちゃんでした。何を隠そう、大根が好きなヒトなんです。ふと、道場時代に沢山、大根を供養していただけた時に、縄の間に大根を干すべくねじり込んで干したのを思い出し、こうして彼岸の日は過ぎていくのでした。



当山の桜も知らぬ間に(失礼)咲いてきました。桜も何故か？早くに咲き出すようになって久しいのです。今や、卒業式の花になっていないか？とさえ思うのです。昔は4月に入ってから桜は咲くものと相場が決まっていたような気がしますが・・・どうして咲き急ぐのでしょうか？と思えてなりません。花は蝶を招くに心無くと良寛さんの歌の一部にも在るように、蝶を呼び込む為に咲くのではなく定めや自然の摂理に従って無心に咲くのでしょうか。この歌の後半は“吾もまた人を知らず人もまた吾を知らず知らずして帝則に従う”と結んでいます。世の中互いに皆を知っているわけではないが、それでも自然と世の中は回っている、蝶も花も人もみな知らないうちに自然の大きな法則に従って生きている。この後半の部分に深い感銘を受けた住職でした。



❀ 春のたより ❀

何気なく春が来たから咲くであったり、水と空気日光が揃ったら咲く花も綺麗であります、優しい眼差しであったり気持ちを向けて育てる花は同じ花であっても何処か違う気がします。此度、とある檀家さんの庭の花も咲き誇り旬を迎えました。花は必ずや何かしらの反応を示してくれる筈です。気持ちに気付ける日々を送りたいものですね ❀



そうちゃんのステッカー作りました♪

隆和尚がボクのステッカー作ってくれたって♪どれどれ拝見とするか・・・ひとしきり拝見しまして、やはりこれはボクです♪



食堂に懸ける箸♪

前回の続き・・・しょくどうと呼ばず僧堂では“じきどう”と読みます。普通、皆さんは食事の際は箸をお使いになると思いますが、フォークを使う住職。特に意味はございません。雲水の使う箸は太いイメージが有って、親指の太さ位の箸を使っていました。形から入ったのを自己申告します。さてさて一般的には食事とは今日有った事を家族団らんで話して過ごすと思いますが、静寂を旨とする僧堂の食事は音を出してはならぬのです。漬物とか音を出さずに食べるなんてどだい無理な話ですよ。たちまち煩いと叱責が飛び交います。その名残でしょうか？今でも喋らず黙々と食べる住職でした♪



プリンちゃんのステッカー🐶

そうちゃんだけでは不公平ですので作ってみました。可愛すぎですね💧

